

6年

まだ見ぬ世界

たくさんの写真の中から心を動かされた1枚を選び、その写真からイメージをふくらませて表現しました。単純に写真の続きを描くのではなく、写真から感じたことや想像したことを表現します。

難しい…。

まず、写真選びから始めます。写真は、風景、食べ物、家具、花、美術作品、模様、空、人間、文房具、動物などたくさんの種類があります。気になった作品を集めて、そこから選ぶ人が多かったですが、たくさんの中から選ぶと、自分の好みや、考え方が何となく見えてきます。風景ばかりを選ぶ人、青系の色が多い人、宇宙が好きな人、鳥を選ぶ人など、その人なりの基準で選んでいるのでしょう。全体的には風景や空が多かったです。

選んだ写真を見て表したいことを見つけしていきます。「何が写っているのか」「写真の外にはどんな世界が広がっているのか」想像します。「なぜその写真を選んだのか」も表現したいことを見付けるきっかけになります。



自分の伝えたいことが伝わるように表現方法を考え、これまでの経験を生かして動きや奥行きも考えながら表現しました。

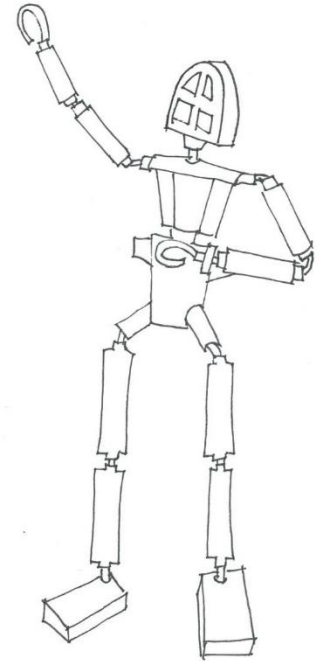
未来に生きるわたし

10年以上未来の自分を想像して立体に表しました。この題材に取り組むときに伝えることがあります。

卒業を前に、自分の未来について考えることが増えます。なりたい職業がイメージできる人もいれば、そうでない人もいます。それは当然のことで、なりたい職業が決まっていなくてもよいと思います。未来の自分は仕事をしているだけではないので、生活のこと、趣味のこと、家族のことなどどんな未来でもよいです。

人生なのでいろいろなことがあり、よいことも、辛いこともあります。でも、自分の未来を考えたときに、前向きに、肯定的に捉えてほしい。明るい希望のある未来を想像できる人であってほしい。

服装や周りの様子などにもこだわってつくるようにしました。



This is Me.

板に「これが私です！」という思いを描きました。自分らしさとは何でしょう。自分の思う自分と、他者からみられる自分も違うかもしれません。色や表現方法を工夫して表しました。